

【第3号議案】

令和2年度事業報告の件

1. 管理運営活動

下記の通り理事会・評議員会を開催し、令和元年度事業報告及び会計報告、令和3年度事業計画・収支予算並びに理事・評議員の選任等事業運営全般について審議検討した。なお、新型コロナウイルス(COVID-19)感染症拡大防止のため、いずれも書面決議による運営とした。

第34回理事会	令和2年5月29日(金)
第20回評議員会	令和2年6月19日(金)
第37回理事会	令和3年2月12日(金)
第22回評議員会	令和3年2月19日(金)

* 他に第35回理事会として令和2年6月19日(金)に、第36回理事会として令和2年12月4日(金)に、第21回評議員会として令和2年12月25日(金)に、書面での決議を行っている。

2. 展示の実施

(1) 展示企画

令和2年5月21日(木)より7月26日(日)まで、春季特別展「民藝の力ーパピリオン「日本民藝館」と EXPO'70ー」を開催した。当初、令和2年3月1日(日)より7月13日(火)までの開催予定であったが、新型コロナウイルス(COVID-19)感染症拡大防止のため5月20日(水)まで臨時休館とし、また、このことに対応して可能な範囲で会期の延長を図ったことによりこの日程での開催となった。

次に、令和2年9月5日(土)より12月13日(日)まで、秋季特別展「民藝の軌跡ーポスト EXPO'70の作家達ー」を開催した。秋季特別展では当初「三代澤本寿」を予定していたが、新型コロナウイルス(COVID-19)感染症拡大防止の取組として他府県への移動が制約を受け、その準備が困難となった。そこで「三代澤本寿」を令和3年度春季特別展とし、新たに大阪万博以降の当館の収蔵品に焦点を当てた展示を企画し開催することとした。

また、令和3年1月16日(土)より1月31日(日)まで、「根の力ーTHE POWER OF ORIGINー」を開催した。これは大阪府主催の大阪万博50周年記念プログラムの一環として企画された展示企画で、これに協力するかたちで開催したものである。

(2) 記念講演会

春季特別展期間中、以下の記念講演会を予定していたが、新型コロナウイルス(COVID-19)感染症拡大防止のためいずれも中止とした。また秋季特別展ではイベント開催の状況が整わず企画を見送った。

○ 記念講演会

- ① テーマ 「民藝運動と柳宗悦の蒐集ーパビリオン「日本民藝館」の出展作品を中心にー」

日時：令和2年4月19日(日) 14:00～15:30

場所：国立民族学博物館・第5セミナー室

講師：杉山享司氏（日本民藝館学芸部長）

- ② テーマ 「食事(ケハレ)と民藝」

日時：令和2年5月24日(日) 14:00～15:30

場所：国立民族学博物館・第5セミナー室

講師：土井善晴氏（料理研究家）

- ③ テーマ 「民藝の魅力」

日時：令和2年6月10日(水) 18:00～19:00

場所：大阪中央公会堂・小集会室

講師：深澤直人氏（日本民藝館館長、プロダクトデザイナー）

(3) 民芸ゼミ・ワークショップ等

さらに、春季特別展期間中、以下の民芸ゼミ・ワークショップ等を予定していたが、新型コロナウイルス(COVID-19)感染症拡大防止のためいずれも中止とした。また秋季特別展ではイベント開催の状況が整わず企画を見送った。

○ 民芸ゼミ

- ① テーマ「作家が担う民藝運動の時代へー万博の「日本民藝館」と濱田庄司ー」

日時：令和2年6月28日(日) 14:00～15:30

場所：国立民族学博物館・第3セミナー室

講師：濱田琢司氏（関西学院大学文学部教授）

○ はじめての「民藝」

- ② 「民芸運動とEXPO'70ー挑戦としてのパビリオン「日本民藝館」ー」

日時：令和2年3月15日(日) 14:00～15:30

場所：大阪日本民芸館・会議室

講師：小野絢子（大阪日本民芸館学芸員）

(4) ギャラリートーク

学芸員によるギャラリートークについては、9月まで新型コロナウイルス(COVID-19)感染症拡大防止のため中止としたが、10月に再開し、秋季特別展期間中、合計5回開催した。

(5) 新型コロナウイルス(COVID-19)への対応

大阪府からの要請もあり、令和2年3月1日より5月20日まで臨時休館とした。

5月21日以降、新型コロナウイルス(COVID-19)感染症拡大防止のため所要の対策を行って開館している。主な取組は以下のとおり。

- ・従業員の毎日の検温・体調確認・マスクの着用
- ・受付カウンターへのスクリーン設置
- ・館内の定期的な換気・消毒の実施
- ・来館者への検温・手指消毒・連絡先記帳等の依頼

3. 入館者及び入館料

臨時休館実施の影響などによる春季特別展での入館者数減少が大きく、これを主因として令和2年度の有料入館者数は5,506人となり、令和元年度(有料入館者数は7,837人)を2,331人下回った。

その結果、入館料(含・友の会会費収入)は、3,054千円と前年度(4,369千円)比(1,315千円)の減少となった。

4. 友の会活動

○友の会連絡の発行

年4回、全会員に対し発行し、展示・イベント案内や各種情報提供を行った。

○他の美術館等への観覧研修

新型コロナウイルス(COVID-19)感染症拡大防止のため中止とした。

○会員期間の延長

臨時休館の実施に伴い、休館期間に相当する会員期間の延長を行った。

5. みんげい市

下記のとおり陶磁器・木作品の展示即売を予定していたが、新型コロナウイルス(COVID-19)感染症拡大防止のため中止とした。

日時 : 令和2年5月9日(土)、10日(日) 10:00~17:00

場所 : 大阪日本民芸館正面入口前

参加作家 : 関西圏で活躍されている作り手の方々約20名